

令和6年度 指定管理者施設管理評価シート		部課名	教育委員会事務局学務課	
施設名称	12 東京都台東区立たいとうこども園	指定管理者	社会福祉法人東京児童協会	
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 継続特例 <input type="checkbox"/> 非公募	指定期間	H31.4.1	～ R6.3.31

1. 施設及び事業の概要	
(1)	[設置目的] 就学前の子供を保護者の就労の有無にかかわらず受け入れ、一貫した教育・保育を提供するとともに、地域における子育て支援を行う。
(2)	[所在地] 台東区下谷3-1-12 [規模] 延床面積1,536.26㎡ SRC・RC一部S造 5階建のうち1階 乳児室、保育室、遊戯室、職員室、事務室、調理室、調乳室、保育士室
(3)	[委託事業] 認定こども園の管理運営 [自主事業] スポット延長保育
(4)	[利用者] 生後57日～就学前の児童 [利用料金制] <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
(5)	[開館日・時間] 月～土曜日（祝祭日・年末年始を除く）、午前7時15分～午後6時15分（延長保育は午後7時15分まで）
(6)	[人員体制] 54名 (内 訳) 園長(1) 副園長(1) 保育者(常勤27※うち育休2、非常勤10) 看護師(常勤1) 調理師・栄養士(常勤6※うち育休1、非常勤3) 事務(常勤1、非常勤1)、保育補助(常勤1、非常勤7) 嘱託医(1) (前年増減) なし(保育者(非常勤)1増、栄養士(常勤)1増、栄養士(非常勤)1減、事務(非常勤)1増、保育補助(非常勤)2減)

2. 予算決算		R4予算	R4決算	R5予算	R5決算
収入	委託料(指定管理料)	253,044,440	253,017,586	262,910,000	262,900,699
	利用料金収入	603,000	595,690	587,000	584,754
	その他収入(給食費)	6,981,306	5,127,788	3,720,600	3,716,029
	計	260,628,746	258,741,064	267,217,600	267,201,482
支出	人件費	190,924,000	190,900,849	194,455,000	194,452,214
	光熱水費	0	0	0	0
	維持管理費(委託料・賃借料)	499,100	499,100	565,320	566,094
	修繕費	0	0	186,000	185,482
	事業費	25,728,800	25,696,350	28,884,914	28,881,207
	その他支出(事務費)	43,476,846	43,432,104	43,126,366	42,386,016
	計	260,628,746	260,528,403	267,217,600	266,471,013
収支			-1,787,339		730,469

3. 活動指標	単位	(目標値)R7年度	R3年度	R4年度	R5年度
定員	人	161	161	161	161
年間保育日数	日	293	293	293	293

4. 成果指標	単位	(目標値)R7年度	R3年度	R4年度	R5年度
入所児童数(4月1日現在)	人	161	150	132	131

5. 前回評価及び第三者評価の結果に対する、現在までの取り組み状況

玄関口のオートロック開錠時の安全・防犯対策として、閉め忘れの注意喚起の看板掲示及び閉め忘れ防止ブザーの設置を行い、安全対策を強化した。また、園内の様子を保護者へ伝える際には、アプリでの個別報告や周りを意識して音量に気を付けるなどプライバシーへの配慮に徹底して取り組んでいる。

6. 評価の観点

(20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり)
(13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った

(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
17 / 20 点	事業計画書等の作成・提出は遅滞なく行われ、区との連絡調整も適切である。労働環境においても、雇用形態に応じて個別の就業規則を作成し、適宜更新するなど、適正な管理体制及び運営を維持している。障害者の法定雇用率達成は引き続き取り組む課題である。
(2) 事業の運営	職員配置、職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
18 / 20 点	施設の管理運営に必要な人員を超えた職員配置をしており、かつ、幼稚園教諭・保育士資格を併有しているため、質の高い教育・保育を提供できている。また、預かり保育の開始時期を全学年前倒しで行い、保護者の就労ニーズに対応する姿勢が見られる。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
18 / 20 点	危険箇所の把握や再確認に加え、危険箇所のチェック表を作成して定期的に保守点検を実施しており、緊急時に園から区へ速やかに連絡する体制づくりができている。また、照明をLED化し、環境に配慮した取り組みに努めている。
(4) サービス向上の取り組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取り組みが積極的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	苦情数が減少傾向になってきていることから、利用者の園生活に対する満足度は高くなってきている。特に専任講師が在職している「アトリエ活動」では、季節ごとに異なる活動をしており、子供達が楽しみながら表現活動を行っている。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	預かり保育(3歳)の実施時期を早めたことにより、収益決算が昨年度比較で増加しているが、当初予算比較では誤差はほとんどない。また、法人内で経理委員会を行って見直しをしているため、収入支出は適正かつ効率的に行われている。

(6) 優れた取り組み

《加点項目》

※点数上限：10点

指定管理者の自主的な取り組みによる成果

5

点

新型コロナが落ち着いてきたことで、子供たちがアクティブに活動できる機会が増えている中、毎月各運動分野のトッププレイヤーによるスポーツ指導を体験できることは、子供たちにとって貴重な時間である。

7. 総合評価

極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)

良好

(98 / 110点)

【所見】

令和5年度は創立10周年記念行事が実施され、地域・PTAおよび職員間の絆が深まった1年となった。質の高い教育・保育を提供していくため、他園の好事例を積極的に取り入れていくなど、適正な管理運営が行われている。

【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】

ロッカー等にぶつかる事故が発生している。原因や対応方法の周知を徹底すると共に、適宜マニュアルを見直すなど、再発防止に重点を置く必要がある。また障害者の雇用率向上も課題となっている。